

「地域住人と商店街の互恵的関係を構築」

まち塾 そしてコミュニティーの回復 開講！塾長は、靴職人

○『本格靴』を作る「KOKON(ここん)」とは

平成に入った頃から、個性的なショップが点在するようになった金沢・新竪町通り商店街。商店街の中ほどに、ハンドメイドの高級靴屋<店舗名：KOKON>がある。商品はオリジナルブランド【KOKON】ブランドを立ち上げていることが特徴。店構えは、町家を活用した高級靴屋のイメージをもつ雰囲気のあるお店。



店主の小紺浩良(ここん ひろよし)氏は、13年あまりの靴店勤務を経て、世の中が使い捨ての靴にシフトしていく時代にあって、自らはその考え方に馴染めず「やはり自分は本物を愛する顧客に本物の靴を提供する店を持ちたい」と独立を決意。20年前(平成7年9月)新竪町の街並みと古い町家に魅せられ当地で創業。

【KOKONの店内】

○「KOKON」自社ブランドの誕生

開店して3年余り経った頃、一流ブランド靴メーカーを退職した社員から、オリジナルブランドの立ち上げの話を受け、熟慮を重ねた結果、自社ブランドの在庫を持って商売する道を選択。出来上がってきた靴をお得意様に実際に履き、様々な観点から問題点や改良すべき点をアドバイスしてもらい、適時必要な改良を加えるという地道な努力を積み重ねた結果、ようやく納得できるKOKONブランド靴を完成させることができた。



【KOKONブランドマーク】

○革から買い付け、徹底したこだわり

革は自ら買い付けしている徹底的なこだわり。革には良いところと悪いところがあり、悪い部分の革は見本用の靴に使用したりする等、革の品質管理も徹底している。やはり革が上質であれば靴は長く履けるからとのこと。材料となる革を買い付けることはかなり負担となるが、求める側からすれば、ここへ来ればちゃんとした品質が保証されていると信頼にもつながっている。



○【木型】へのこだわり～靴の販売価格7万円～

KOKONの靴は【木型】、いわゆるラストもオリジナルで作っている。そのラストへのこだわりが尋常ではない。靴の木型を作る場合、直線より曲線を多様した方がより足によりフィットする。この曲線が多いほど縫い合わせが難しく、高度な熟練技術を要する。KOKONの靴は、とにかく曲線が多く作られている。



【木型：ラスト】

○『かかと』のフィッティングの良さに鳥肌

KOKONの靴は、日本人の足に合うよう「かかと」が細めになっているのが特徴。『KOKON』の靴を初めて履くと二度声が出ると言う。足入れをした瞬間と、足を入れて歩き出した瞬間。かかとのフィッティングが素晴らしい。このフィッティングを味わってしまうとリピータとなるそうだ。



○全国のリピーターから支持を受けるほど

一般的には知名度が高い訳ではないKOKONであるが、『本格靴』を作る靴メーカーとして本物である。大手ブランドと違い、百貨店などに卸しているわけではないので、金沢のKOKONと名古屋にあるAvantiという靴屋でしか取り扱っていない。KOKONを知らない人は全然知らない訳だが、その筋に精通している人はKOKONを知っている。この靴は、全国から買いに来る人が居る程。そしてリピートで何足も買う人が居る程好きな人には堪らない靴屋である。



○昨年、横浜に「KOKON」セレクトショップオープン

横浜市中区石川町に、昨年2月、靴店「Gloucester Road Shoes Shop (グロスターロードシューズショップ)」がオープンした。店主は、元々靴好きで、金沢「KOKON」の素晴らしさは本やネットで知りつくし、1足靴を作りたいと思い店を訪問。そして、店舗で募集していた修業生に応募し小紺氏に師事、靴についての知識や接客を学び、名古屋に次いで二人目の開業者となる。



【横浜：KOKON セレクトショップ】

○まち塾で提案する《強み・魅力》とは

小紺氏は、靴メーカーとして靴に関する知識が尋常でない。それだけに、靴を愛し、靴に関して時間を忘れるほど熱く語る。徹底的に皮素材にこだわり、また足にフィットする木型の研究を怠らず、デザインと商品価値とのバランス感覚がリピーターから絶大な指示を受けている魅力である。まち塾では、靴の選び方や手入れ法など、靴に関する生活情報や靴の選び方（靴の履き心地とは、靴と健康）靴のお手入れ（長持ちさせる方法）などを提案する。



○『まち塾』を通して

新豎町エリアに住む住民に、本物の革靴屋と靴に関する豆知識を、まち塾を通して地域の方々に伝えていく。個性的な店の多い新豎町商店街は、地域外から感度の高い若者なども訪れている。「KOKON」もその吸引力のひとつであり、その魅力を高めることにより、より集客力に繋がり、地域や商店街の魅力が高まる。「雰囲気の良いまち」とのイメージが形成される。

～まちなか商店学習塾～靴職人が“塾長”

★【「KOKON」で実施する「まち塾」の具体的な内容】

【塾長】 「KOKON」代表 小紺浩良 氏

【まち塾】プログラム

○ KOKONについて

- ・KOKONの特徴
- ・現在の商品構成

○革靴の現在の流行

- ・紳士靴のいまの傾向、流行

○革靴の良さと上手な選び方

- ・革靴の特徴
- ・革靴と健康
- ・足にフィットするとは
- ・歩きやすい靴とは

○革靴の手入れ方法、革製品の手入れ

- ・革靴の良い匂い
- ・革靴や足の悪臭を防止する方法

○新豎町への思い

- ・新豎町で開店した理由
- ・新豎町の良いところ小紺氏の革靴に関する知識、情報と店づくりの考え方の紹介
- ・革靴の試着などによる上手な靴の選び方のレクチャー



【小紺浩良 氏】

【参加者は】

- ・近隣住民（靴にこだわりのある人、ファッションに関心のある人）
- ・新豎町商店街会員

【小紺浩良 氏】

【参加者へのメッセージは】

- ・革靴の良さ
- ・靴を大切にし、長く使う価値観

【参加者に期待する次のアクションは何か】

- ・革靴などを持ち込み、修理などの相談
- ・手持ちの靴や革製品のメンテナンス

【商店塾を実施するKOKONの効果は】

- ・近隣住民が靴修理などで気軽に相談、出入してもらう
- ・近隣住民が、孫の就職祝いなどギフトとして利用してもらう。

【商店街への効果は】

個性的な店舗や感性の高い店舗のある商店街、感度の高い人が集まる商店街とのイメージが形成される。